区政報告　平成22年4月号 Vol.9

高木くん新聞

～江戸川区議会議員

高木ひでたか

による区政報告かわら版～

www.takagi-hidetaka.com

改革前進

発行元　高木ひでたか事務所
〒132-0024 東京都江戸川区一之江3-18-3
TEL:03-5661-4608 FAX:03-5678-1678
E-mail:jimukyoku@takagi-hidetaka.com

江戸川区 平成22年度予算確定号

江戸川区・平成22年度予算報告！

平成二二年二月二四日から三月十日まで行われた予算特別委員会の集中審議後、三月二三日の本会議の議決を経て、江戸川区の平成二二年度予算が確定いたしました。年度初めの一番大切な事項なのでそれをまずご報告させていただきます。

本年度は八兆七千億円という未だかつてないほどの国税の減収および都税においても約六千億円減収が見込まれるなか、我々の区においても特別区民税や財政調整交付金の減収はかつてないほど大きくなると見られています。こういった状況下であっても区民サービスへの影響を最小限に留め、緊急性・継続性の高い施策へのシフトと、今まで以上に無駄のない効率的な財政運営を進めなくてはなりません。

平成二二年度の一般会計の歳入歳出額は、二一二九億一三百万円で、前年比百十六億三五百万円ほどの増額でした。歳出の内訳と前年度との増減額は左表の通りです。

本年度は、区においても直接的な税収の増加は見込めず（特別区税収は4.4%減、約二二億円減と見込む）基金からの繰入金を一〇二億円ほど増額し、それで歳入を増やして、歳出は他の目的費を削りながら福祉費や産業振興費の大幅な増額を図っています。その目的のために新規事業二七項目・拡充事業五六項目と数多く立てており、決して余裕のない区財政の状況の下で、この予算は従来の編成方針に沿った、私なりに大きく評価できるものと確信しています。

平成22年度歳出表（21年度との比較）

（単位:百万円）

科目名	22年度	21年度	増減
議会費	835	863	−28
総務費	14,462	14,528	−66
区民生活費	13,964	14,580	−616
環境費	9,884	10,686	−802
福祉費	99,798	82,446	17,352
健康費	23,003	22,414	589
産業振興費	3,127	2,252	875
都市開発費	2,487	3,681	−1,194
土木費	21,989	24,102	−2,113
教育費	21,045	23,183	−2,138
公債費	2,017	2,243	−226
その他	300	300	0
歳出合計	212,913	201,278	11,635

江戸川区における平成22年度重要新規・拡充事業として

本年度予算で新規および拡充された事業のなかで私が注目したものとして次の八項目を挙げます。

①江戸川区公共調達基本条例の制定に伴う公共調達審査会および公共調達監視委員会の設置

この度本区では**公共調達基本条例**が定められ、四月一日から施行されます。

学校などの公共施設の改築においての施行業者の選定に関し、価格や品質だけでなくコミュニティや学校教育、災害面などにおける地域への貢献度についても評価の対象とする「社会的要請型総合評価方式」を導入していくことが決められました。この評価を取り入れた入札制度およびその管理のための審査会・監視委員会の設置を予算化しています。本年度の最重要政策とも言えます。

②東葛西地区区民施設（コミュニティ会館）の建設

区内三一番目の地域施設、区内二三番目のコミュニティ開館として東葛西地区に区民施設を建設します。通常の集会施設ばかりでなくスポーツルームやレクリエーションホール、音楽室なども設置します。開設は平成二三年四月を予定しています。

③子ども未来館の開館に伴う運営費用

本年四月二九日に開館する予定の「子ども未来館」の運営費が計上されました。ここには篠崎子ども図書館も併設されています。学校では経験できないような体験プログラムが各種提供されます。

④生活援護第三課の開設

生活保護者の増加に対応するため、東葛西七丁目に生活援護第三課を設置します。地域包括支援センターなど介護関係の窓口も併設されます。

⑤私立保育園施設整備の助成

私立保育園の施設建設・改築費用の助成を行います。平成二三年までに三施設予定されています。

⑥予防接種の費用助成拡充

従来のインフルエンザ予防接種などのほか、肺炎球菌ワクチン接種、ヒブワクチン接種の費用の半額補助が行われます。

⑦区内一斉商品券まつりへの補助

区商連が行う区内共通商品券まつりの割引の一部、印刷費およびPR経費の補助を決めました。

⑧学校活性化事業

学校の活性化に、読書改革プロジェクト、本好きな子どもを育てるために読書活動を推進させます。読書科の新設やボランティアによる読み聞かせなどの活動を支援します。

そのほか、学校応援団なる地域ぐるみで学校を支援する体制の再構築を行います。

自民党からの本年度予算に対する総括意見

予算特別委員会において本年度予算に対し自由民主党からの総括意見が発表いたしました。

厳しい減収のなか、多くの新規・拡充事業を加えてやり繰りした予算に対し全般的に多大な賛意を表明しております。以下、さらに今後区で取り組んで欲しい主な要望事項を取り上げました。

総務費については、区民税の公平性を保ちながら収入を確保するためにインターネットバンキングやクレジットカード方式などでの納税を認めるようにすべきと要望しました。また学校改築などの入札制度に総合評価方式を導入することへの多大なる期待を発言しました。

産業振興費には、今年も「区内一斉商品券まつり」への実現協力と区内農地保全の施策充実を要望しました。

環境費には、安全・安心の江戸川区の実現のためのより多くの取組みを要望しました。

健康費には、女性の命を守るためにも「子宮頸がんワクチン接種」に対する助成を要望しました。

福祉費には、特別養護ホーム、高齢者専用賃貸住宅など高齢者の住宅施策の充実についてより一層の努力を期待すると発言しました。

土木費には、レンタサイクルの稼働率向上の観点から貸出し場所の看板の設置、サイクルポートの増設、広告収入の可能性を見出すための実証努力を要望しました。

教育費には、全小中学校の悉皆方式での「学力テスト」の実施を希望しました。また、教科書選択については、忙しい教職員がじっくり教科書を検討できる環境づくりを要望しました。

岡本海渡さん死亡事件の検証報告から

本年一月二三日、区内で親が子どもを虐待死させるという痛ましい事件が起こりました。被害者は小学校一年生、七歳の男の子です。この事件・経過については私の担当の二月の文教委員会でも大きな問題として取り上げられ、区議会においても多田区長による謝罪コメントのほか教育委員会から具体的な検証報告がなされました。詳細については江戸川区のホームページに載っています。

今回の問題は、虐待のサインがあった休みがちな児童に対する学校の家庭訪問における判断、連携すべき関係者、例えば家庭支援センターや児童相談所、地域などとの共有認識が問われた形となってしまいました。

虐待の有無の判断は実際難しく、本区には虐待があった時の対応をする組織は多数ありますが、横断的に機能させていくのは極めて多くの障害があるのかもしれません。それにはより一層の努力が必要です。

海渡君のご冥福を祈りつつ、今後こうしたことが本区内で起きないよう私も努力し、地域の方々にも積極的に協力してもらえるよう促していきたいと思います。「子どもたちにやさしい江戸川区を目指す」言葉では簡単ですが実際に行動することは皆さんとの意識の高めあいにあります。二三区内でもっとも児童の多い区として、子育て支援のあり方を再度考えていきたいと思います。

痛ましい事件が２度と起こらないように・・

児童虐待ＳＯＳ
０３－５６６２－５１１５
気づいたらまず連絡を！

地域活動報告

一之江地区町会連合会の新年会で挨拶

すくすくスクールの文化祭に参加。そのときの餅つき

文教委員長として千代田区内小学校校内の図書館を視察

西瑞江公園さくら植樹祭式典にて挨拶

高木ひでたか
私のプロフィール

昭和４２年３月１３日
江戸川区一之江生まれ

略歴
一之江小学校、松江第五中学校卒業
東海大学付属浦安高等学校卒業
東海大学文学部英文科卒業
平成１２年　社団法人東京青年会議所 理事・政治行政室室長
平成１５年　江戸川区議会議員初当選（現在２期目）
現　在　文教委員会　委員長
街づくり・防災対策特別委員会　委員
自由民主党江戸川総支部　事務局長

”メルマガ「たかぎ君」とーく”
登録者大募集！

takagi-kun@yiii.co.jp
上記アドレスに
空メールを送れば登録完了です。

日々の区政活動報告の詳しい内容は、
ホームページを是非見て下さい。
www.takagi-hidetaka.com

高木ひでたか事務所
〒132-0024　東京都江戸川区一之江3-18-3
TEL：03-5661-4608　FAX：03-5678-1678
E-mail：jimukyoku@takagi-hidetaka.com